

発行:在日韓国民主統一連合(韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284 メール chuog@korea-htr.org

韓米合同軍事演習反対! 米大使館に抗議!



韓成祐委員長によるアピール

8月10日、韓米合同軍事演習に反対するため、韓統連と日本市民の有志が集い、米国大使館前で抗議集会を開催した。

集会では冒頭に「資本主義を超える新しい時代を拓く反戦実行委員会」の松平氏が呼びかけ人を代表し挨拶。「朝鮮半島では南北通信連絡線の復旧によって、平和に向けた画期的な転換へ動き出している。私達日本と韓国の民衆が連帯し、韓米合同軍事演習を中止させ、日本の軍事大国化を阻止していこう」と語った。

また、韓国からは民主労総のキム・ウニョン副委員長がリモートで連帯挨拶。「いくら規模を縮小し、形態を変えても、韓米合同軍事演習は朝鮮を敵と想定する戦争演習だ。私達は戦争の時代に戻ることはできない。

危険極まりない合同軍事演習を中止させ、南北合意を履行することによって停戦協定を平和協定に転換させよう」と強調した。

その後も各団体からのアピールが続き、韓青からは韓成祐中央本部委員長がアピール。「韓米合同軍事演習は板門店宣言に明確に違反しており、朝鮮半島の緊張を高めるものだ。このままでは、せっかく築かれた南北の信頼関係が破壊されてしまう。私達在日韓国人青年は、国内の青年たちと連帯しながら、軍事演習反対、南北合意履行を求める闘争を力強く展開していく」と今後の決意を語った。

最期は参加者全体で再びシュプレヒコールを展開。米国大使館に対して軍事演習の中止、対朝鮮敵視政策の放棄、米軍のアジアからの撤退などを力強く要求した。



参加者全体でプラカード・アピール

「私はチョソンサラムです」名古屋上映会を開催



パネルディスカッション

8月8日、ドキュメンタリー映画「私はチョソンサラムです」名古屋上映会が開催された。まん延防止措置下の開催となったが、会場には約90名の参加者が駆けつけ、活況を呈した。

上映会の冒頭では韓統連愛知本部の趙基峰代表委員が主催者挨拶を行い、自身の生い立ちや差別との闘い、韓青との出会いから現在に至るまで、「民族的に生きる」ことの意味を語り、映画上映会の意義を強調した。

その後、上映し続く第二部では「今、チョソンサラム

として生きる」としてをテーマにパネルディスカッションを開催。在日3世で映画監督の朴英二氏、愛知朝鮮学校出身であり朝鮮学校初の養護教員である京都朝鮮初級学校の曹元実氏、韓統連大阪本部の金昌五副代表委員の3人が登壇した。パネルディスカッションでは年代や職業、性別も違う観点から、「チョソンサラム」としてどう生きていくべきか、ということを活発に語り合った。また、映画を製作した金哲民監督の映画に込めた思いも紹介された。

上映会終了後は、受付横にブースを設け、プラカードアピールを展開。メッセージがプリントされたTシャツを制作し、韓米合同軍事演習の中止をアピールした。



オリジナルTシャツでアピール

76年目の8月6日を迎え、広島本部がアピール



報告する尹康彦副代表

8月5日「8・6ヒロシマ平和へのつどい2021 被爆・敗戦76年ヒロシマから、生物多様性と脱軍備をキーワードに社会変革を！！」が広島市まちづくり市民交流プラザで開催された。

第1部の問題提起では「被爆・敗戦76年 ヒロシマから」「ミャンマー(ビルマ)市民の反クーデター・民主化を求める運動から日本に住む私たちが問われている事」「イスラエルの世界標準化に抵抗する」の各テーマで発題があり、尹康彦韓統連広島本部副代表委員が「2021年朝鮮半島をとりまく情勢 朝鮮半島の非核化・キャンドル革命」をテーマに発題した。

発題ではアメリカ・バイデン政権は「シンガポール共同声明」で確認した対話で朝米関係改善と平和体制を確立しなければならず、そのためには対朝鮮敵視政策の放棄・韓米合同軍事演習の中止が必要と指摘した。南北関係では7月27日の南北通信連絡線の復旧が関係改善の契機になると分析した。続いて、キャンドル革命の意志は積弊清算を徹底的に行うことを求めており、来年の韓国大統領選挙で続けて民主政権を樹立させなければならないと強調した。最後に「韓米合同軍事演習の中止」「国家保安法の廃止」を求めるプラカードアピールへの協力を訴えた。

問題提起の最後に朴忠奎朝青広島県本部副委員長が「日本の社会におけるウリハッキョ=朝鮮学校の意味」をテーマに発題し、高校無償化裁判の上告棄却を厳しく糾弾した。

第2部の記念講演ではピースデポ代表の湯浅一郎さんが「生物多様性と脱軍備をキーワードに社会変革を」のテーマで講演、生物多様性の減少を食い止めることが平和を求める社会変革につながると講演した。

情勢コラム 南北の関係改善に逆行する韓米合同軍事演習に断固反対する！



国会議員74名が軍事演習中止を要求

米国防総省のカービー報道官は8月3日(現地時間)の記者会見で、韓米合同軍事演習について、「われわれは朝鮮半島で適切な訓練と対応態勢を整えており、訓練と態勢に関するすべての決定は韓国との緊密な協議で行われる」とした上で、韓国から演習中止の要請を受けていないと明らかにした。同省は1日、事実上の合同演習中止を求める金与正朝鮮労働党副部長の談話について、「合同演習は韓米両国の決定だ。いかなる決定も(韓国との)相互合意で行われる」との立場を明らかにしていた。カービー氏は「態勢を確実に維持することに変わりはない」と表明。「われわれは朝鮮半島を脅威から防衛すると公約している」とし、「これは不

変であり鉄則だ」と述べた。

文在寅大統領は4日、合同演習と関連した報告を徐旭国防部長官から受け、多角的に検討し、米国側と慎重に協議するよう指示した。5日には、「共に民主党」を中心とする国会議員74人が、「北が南北関係の改善と朝鮮半島の平和のための協議に応じること」を条件に、合同演習を延期するよう求める声明を発表。政府に対して「すべてのオプションと可能性を念頭に、最後まで米国政府と疎通する」ことを求めた。国会議員の延期要求は7月1日(76人)に続くもの。「光復節76周年 朝鮮半島の自主平和統一のための8・15大会推進委員会」は4日から13日まで大統領府前で、代表団の1人リレー記者会見を、全国民衆行動は7月28日から8月6日まで米大使館前で代表者平和行動をそれぞれ展開し、韓米合同軍事演習の中止を訴えた。

金与正副部長は1日の談話が続いて、10日には「韓米両国は自滅的な軍事演習を行うことによって、安全保障上のさらなる脅威に直面することになる」と警告する談話を発表した。また東南アジア諸国連合地域フォーラム(ASEAN-ARF)閣僚会議が6日にオンライン形式で開かれ、中国の王毅外相は朝鮮半島情勢について「膠着状態を打開する有効な方法は、朝鮮に対する制裁を緩和することだ」と主張。合同演習については「米国側が朝鮮との対話の再開を望むなら、緊張の激化につながる行動をとるべきではない」と呼びかけた。

国内メディアは合同演習について、韓米は新型コロナウイルスの感染拡大状況などを踏まえ、参加する両国の人員を減らすことにし、10日からの予備的演習に続いて16日から実施されると報じている。

今回の韓米合同軍事演習に対して、国会議員が2度にわたり延期要求したように、政権内からも柔軟な対応を求める声があがり、内外の市民社会団体が連日、中止を訴えるなど、世論は高揚している。北側はもちろん、中国政府も中止を訴えた。南北通信連絡線復旧を契機とする今後の情勢を考えれば当然のことだ。しかし、韓米当局はこうした世論や情勢を無視し、規模を縮小して予定通り合同演習を強行するようだ。米側は「合同演習は韓米両国の決定」だとしながら、演習強行の意志を隠さず、「韓国側から演習中止の要請はない」と強調することで、中止・延長要求の動きを封鎖した。文大統領の「慎重に協議」発言は、世論を勘案しながらも韓米同盟を損なう結果を招いてはならないというメッセージだろう。しかし、「相手と対話し関係改善を図る」ことが「相手を敵視し脅威を与える」とこと両立できないのは当然のことであり、それが今回は、「南北通信連絡線の復旧」と「韓米合同軍事演習の実施」という矛盾としてあらわれた。民族共助と韓米共助は並存できないことがますます明らかになった。南北の関係改善に逆行する韓米合同軍事演習に断固反対する！